

## 第11回下関市景観賞概要

### 1 趣旨

下関市の良好な景観の形成に向けて、「下関市景観条例」に基づき、市民への景観まちづくりに対する関心の醸成、活動者等のさらなる意識高揚を図るため、「下関市景観賞」を実施。

### 2 募集内容

- 景観フォトコンテスト部門  
下関市内の「私が残したい素晴らしい景観」をテーマとした写真が対象。
- 景観デザイン部門  
下関市内にある、良好な景観を形成している建築物・工作物（リフォーム・リノベーションを含む。）が対象。
- 景観まちづくり活動部門  
下関市内で行われている、良好な景観を形成するための活動が対象。

### 3 募集方法及び応募件数

- 募集期間 令和2年(2020年)7月1日(水)～8月31日(月)
- 募集広報 市長定例記者会見、市ホームページ、市報7月号、Facebook、テレビ広報(J:COM)、ラジオ広報(カモンFM)
- 応募件数 35件

### 4 選考

- 選考者 下関市景観審議会デザイン委員会委員(10人)
- 選考対象 34件(応募件数のうち、募集要件を満たさない1件を除外。)
- 選考方法
  - 書面審査(9月14日(月)～9月29日(火))  
選考対象についてデザイン委員会委員による書面審査を実施。  
各部門で得票数の多かったものを最終審査対象として選定。  
(最終審査対象:景観フォトコンテスト部門9件、景観デザイン部門2件、景観まちづくり活動部門2件)
  - 現地審査(10月30日(金)9:00～14:40)  
最終審査対象のうち、3件について、デザイン委員会委員(10人中6人)が現地審査。  
※景観フォトコンテスト部門案件は写真で審査するため、現地審査対象外。  
※景観まちづくり活動2件のうち1件は現地審査に適さないため、現地審査対象外。
  - 最終審査(10月30日(金)14:50～15:45)  
現地審査、資料を踏まえ、デザイン委員会委員(10人中6人)により、表彰案件を選定。

#### 景観フォトコンテスト部門

景観賞 「響灘を望む素敵なサンセットスポット」  
(撮影場所:彦島ナイスビューパーク)(受賞者:鈴木 浩介)

#### 優秀賞2件

- ・「暮れなずむ海辺に沈む夕日」  
(撮影場所:吉母の海岸)(受賞者:山川 孝一)

- ・「星空に願いを込めて」  
(撮影場所:福德稲荷神社)(受賞者:重松 将史)

#### 入選5件

- ・「ダイヤモンドを散りばめた夕闇の関門海峡」  
(撮影場所:火の山山頂)(受賞者:山川 孝一)
- ・「幻想的な紺碧の海と空」  
(撮影場所:火の山山頂駐車場)(受賞者:山川 孝一)
- ・「大動脈 関門海峡の美」  
(撮影場所:火の山公園展望台)(受賞者:松下 博)
- ・「海をつなぎ陸をつなぐ」  
(撮影場所:関彦橋)(受賞者:重松 将史)
- ・「長門鉄道 昭和31年3月廃止(JR小月駅～豊田町西市間)」  
(撮影場所:豊田図書館の入口、菊川町西中山農道路のそば)  
(受賞者:藤田 敬治)

#### 景観デザイン部門

景観賞 「A g a w a、JR阿川駅待合所」  
(所在地:下関市豊北町大字阿川水取3653)  
(受賞者:株式会社h a s e、西日本旅客鉄道株式会社広島支社)

#### 景観まちづくり活動部門

景観賞 「彦島ナイスビューパーク内のあずまやを「ヒコハツ!」+地元有志でリノベーションした活動」  
(活動場所:彦島迫町六丁目1-40 ナイスビューパーク内)  
(受賞者:ヒコハツ! 共同代表 鈴木 浩介)

特別賞 「海峡線香花火大会」  
(受賞者:中村 周生)

### 5 表彰式

- 日時 令和2年12月22日(火)10:00～
- 場所 下関市役所本庁舎東棟5階 市長応接室
- 出席者 12人:受賞関係者3人、デザイン委員会会長、前田市長、都市整備部職員7人

## 景観フォトコンテスト部門

### 【景観賞】

「響灘を望む素敵なサンセットスポット」

(撮影場所：彦島ナイスビューパーク)

(受賞者：鈴木 浩介)

[応募者コメント]

響灘を臨むこの場所のサンセットは非常に美しく、竹の子島・彦島・北九州・六連島・長州出島・蓋井島までを美しく彩ります。無料の双眼鏡は密かな人気スポットです。

[講評]

海と夕日のコントラスト、および、双眼鏡をのぞく子どもの後ろ姿を印象的に捉え、のびやかな美しい眺望にいざなっている点が評価されました。



## 景観フォトコンテスト部門

### 【優秀賞】2件

「暮れなずむ海辺に沈む夕日」

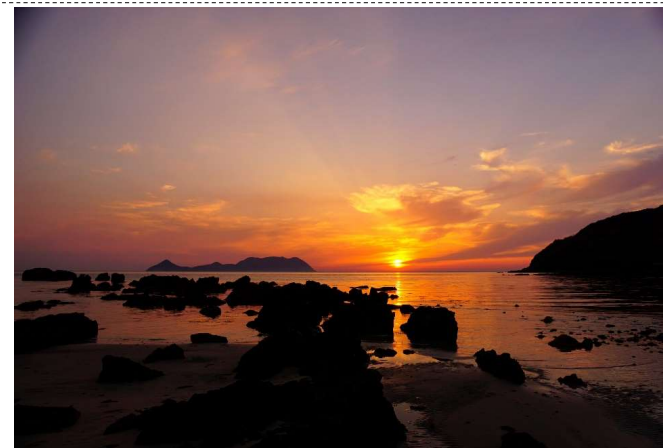
(撮影場所：吉母の海岸)(受賞者：山川 孝一)

[応募者コメント]

大潮の時、潮が引くと、岩礁が砂浜の水際まで現れます。夕日が沈む時間帯とタイミングが合えば、ここから眺める夕日は、絶景です(遠くに見えるのは、蓋井島です。)

[講評]

変化に富む岩礁の先に広がる光輝く海と夕日、そして、一層美しい夕空を捉えている点が評価されました。



「星空に願いを込めて」

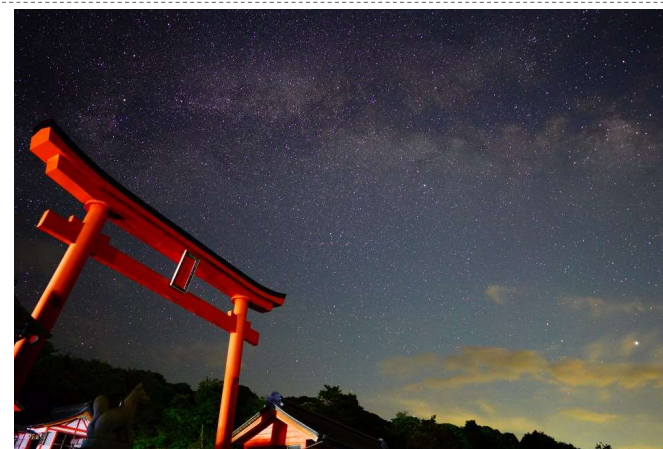
(撮影場所：福德稻荷神社)(受賞者：重松 将史)

[応募者コメント]

下関市内で満天の星空を見ることができる、数少ない場所だと思います。撮影日には天の川を撮ることができました。

[講評]

満点の美しい星空を、赤色に映える鳥居が際立たせている点が評価されました。



## 景観フォトコンテスト部門

### 【入選】 5 件

「ダイヤモンドを散りばめた夕闇の関門海峡」  
(撮影場所：火の山山頂) (受賞者：山川 孝一)

[応募者コメント]

火の山山頂から眺める関門海峡の景観は、東洋のモナコと言われるほど素晴らしいものです。ましてや、夜景は、日本の三大夜景と言われるところと比べても、決して劣るものではありません。



「幻想的な紺碧の海と空」  
(撮影場所：火の山山頂駐車場) (受賞者：山川 孝一)

[応募者コメント]

火の山山頂から眺めるパノラマ眺望は、全国どこを見回しても、ここに勝るところはありません。特に空気の澄んだ日の、海と空が織りなす眺望は絶景です。



「大動脈 関門海峡の美」  
(撮影場所：火の山公園展望台) (受賞者：松下 博)

[応募者コメント]

7月、8月は雨とスモッグが多く、撮影の機会が少ない中、8月中旬に1日だけ撮影の機会あり、唯一の1枚です。美しさの中に機動性を備えた関門橋と関門海峡、私が残したい素晴らしい景観です。もっともっと沢山の人の見ていただきたい景観でもあります。



「海をつなぎ陸をつなぐ」

(撮影場所：関彦橋) (受賞者：重松 将史)

[応募者コメント]

下関漁港関門は、日本海と瀬戸内海、彦島と本州をつなぐ橋であり、未来に残したい風景だと思います。



「長門鉄道 昭和31年3月廃止 (JR小月駅～豊田町西市間)」

(撮影場所：豊田図書館の入口、菊川町西中山農道路のそば) (受賞者：藤田 敬治)

[応募者コメント]

豊田町西市図書館の入口に車輪があります。菊川町西中山農道路のそばに長門鉄道のトンネル跡があります。全線で1箇所のみです。行くには、雑草で足元が悪い。小学校低学年まで長門鉄道で通学でした。市民の中には、長門鉄道が懐かしい人もいます。



## 景観デザイン部門

### 【景観賞】

「A g a w a、J R阿川駅待合所」

(所在地：下関市豊北町大字阿川水取3653)

(受賞者：株式会社h a s e、西日本旅客鉄道株式会社広島支社)

### 【講評】

無人駅のエントランス部分に、シンプルな造りの建物が3棟、建ち並んでいます。都会的な建物でありながら、ガラス張りで透明感があることから、周りの田畑やそばに立つメタセコイアも取り込んで、周囲の風景にバランスよく溶け込んでいます。

商業施設A g a w aでは地元食材を使った飲食物の提供、地元のおみやげ販売、レンタサイクルなども展開しており、1日に数十人しかいなかった駅の利用者が週末には数百人規模となり、地域の新たな憩いと集いの場として地域活性化につながっています。

外部空間と内部空間を隔てない発想、および、駅が元々持っていた「溜まり」の場としての役割をもう一度見直そうとして、成功に導いている点が評価されました。



## 景観まちづくり活動部門

### 【景観賞】

「彦島ナイスビューパーク内のあずまやを「ヒコハツ！」+地元有志でリノベーションした活動」

(活動場所：彦島迫町六丁目1-40ナイスビューパーク内)

(受賞者：ヒコハツ！ 共同代表 鈴木 浩介)

### 【講評】

破損し老朽化していた公園のあずまやを、彦島の地元有志たちが数日かけて、自主的に修復改善を行ったD I Yリノベーション活動です。

軒とハイカウンターの高さ、位置を調整し、地味でも派手でもなく親しめる色合いを選択し、中に入れば、海や空の素晴らしい景色を映画のスクリーンのように切り取った形で眺めることができる「みんなにとってのカウンター席」となっています。

自分たちの街の景観を大事に守るため、材料を持ち寄り、自主的に活動している点、そして、完成後のメンテナンス活動も行い、リノベーションに継続性がある点などが評価されました。



## 景観まちづくり活動部門

【特別賞】 ※特別賞は、景観賞に準じる案件を表彰するものです。

### 「海峡線香花火大会」 (受賞者：中村 周生)

[講評]

新型コロナウイルスにより中止となった有数の「関門海峡花火大会」の代わりになるよう、打ち上げ花火15,000発と同数の線香花火を15,000人に配って、令和2年8月13日20時に一斉に花火をともしてSNSに投稿してもらい、インターネット上で花火大会を行ったというアイデアあふれる、大勢参加の活動です。

クラウドファンディングや伝統的で高品質な線香花火を用意するなど、様々な工夫を凝らし、実現させています。

下関出身の大学生が、新型コロナウイルスに対応するために、インパクトのあるアイデア・方法を独自に考案した点、および、関門両市にとっての一大風物詩である海峡花火大会を途絶えさせないでつないでいこうと願い、かなえさせた点が評価されました。

今年の8月13日は、関門海峡花火大会を想像し、来年以降の開催を願って、大会の歴史や込められた思いを知る日になればと思います。

ふるさとへの思いをこめて、海峡に燃え渡す願いの日として、この海峡線香花火大会も、優しく輝かぬお祭りになりたいと思っています。

**8月13日の夜8時、Twitterにて、**  
他の「線香花火」の写真や動画をアップロードしていただけますが、  
持ち合わせ場所は「#海峡線香花火大会」です。

同封している線香花火は、  
西の線香花火「スボ手牡丹」です。  
自然界の素材でつくられている  
純国産の貴重な1本です。  
国内で製造しているのは唯一ここだけです。  
目まぐるしく表情を変え、儼と消えゆく  
十数秒間の一生をあなたに見守っていただきたいです。  
穂先は斜め上に、

たっぷりの水を用意して、火事にならないよう気をつけてください。



**招待状**

初めまして、海峡線香花火大会主催者の中村周生です。  
海峡線香花火大会は、関門両市山口市下関市出身の男子大学生です。  
中上になつてしまつた「関門海峡花火大会」の夜に、  
それ以外の夜からTwitterにて「線香花火」を打ち上げる  
『海峡線香花火大会』というお祭りをはじめ、遠慮に呼びかけを続けてきました。  
僕の活動に賛同してくださる方々からたくさんのご支援もいただいたので、  
その思いを丁寧に話せてあなたにお渡しします。

一人ひとりの誇りで、  
新しいニュースをつくりだすため、  
あきらめず、  
皆さんの思いが実現する  
大きな力になさっています。

線香花火 一斉に15,000本

今年はあなたが花火師です。海峡線香花火大会で会いましょう。

無念の中止  
関門海峡花火大会の夜に、  
15000発の線香花火を。

2020.8.13  
海峡線香花火大会  
STAY HOME

@KAIYOSENKO

90001から15000までの  
花火師番号をつけています。

8月13日の夜、  
海峡線香花火大会の  
Twitterにて、  
「線香花火」を打ち上げる  
「海峡線香花火大会」が当たる  
宝くじをご用意しています。お楽しみに。

あなたが受け取ったこの線香花火は、  
@KAIYOSENKO  
kaiyosenko.official.ec  
関門線香花火の「線香花火」  
ご支援を受け付けております。

からのプレゼントです。 中村周生 Twitter @NakamuraShuuei